



よいしょ!! わーい、お米になった!

『昔の道具(せんばこき)って  
大変だな』  
(八幡小学校 体験学習)

主 な 内 容

- ◎平成17年9月議会……………2
- ◎一般質問……………4~7
- ◎常任委員会レポート……………8~10
- ◎特別委員会レポート……………11
- まちの声・編集後記……………12

第3回  
定例会

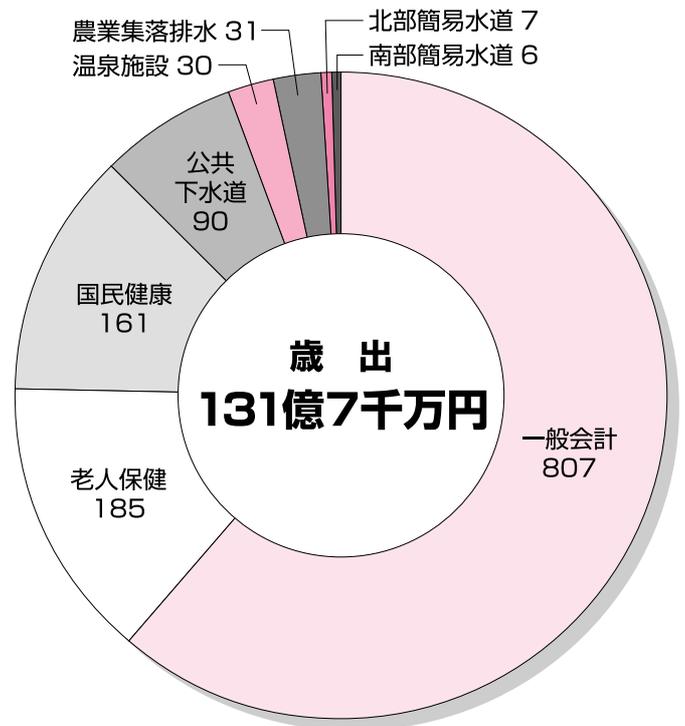
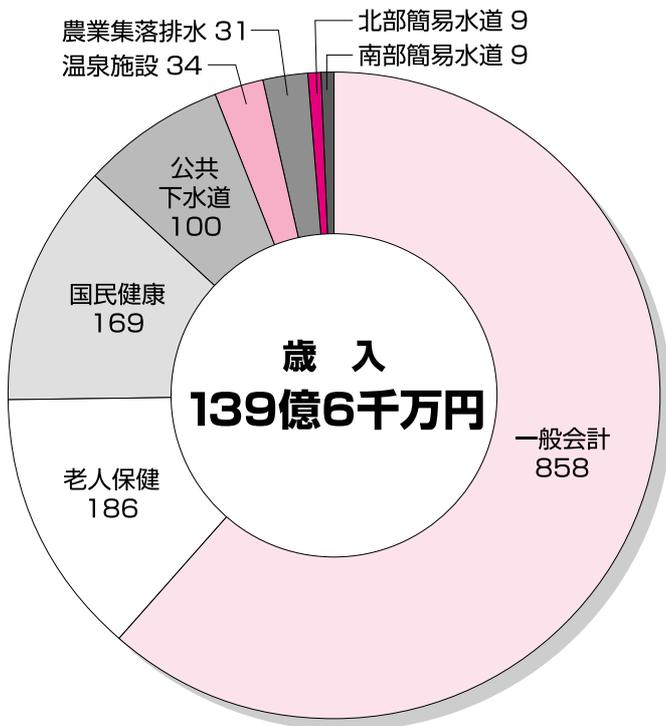
# 平成16年度 決算を認定

9月13日  
▼  
9月27日

一般会計 歳入 **85億7,778万円**  
歳出 **80億6,820万円**

特別会計 **7会計と事業会計(水道)も認定**

(単位:千万円)



## 監査委員の意見

### ◆平成16年度決算について

諸帳簿等よく整理され、会計・経理はすべて適正であった。

### ◆資金の債券運用等により、 利子収入の増加を図られたい。

# 池田町選挙管理委員及び 補充員に選ばれました

## 選挙管理委員



木下多恵子 氏(69才)  
池田町片山1521の1



丸山幸太郎 氏(68才)  
池田町六之井702の2



野原正人 氏(73才)  
池田町沓井1050



小川 修 氏(68才)  
池田町宮地490

## 選挙管理委員補充員

竹中勝之 氏(67才)  
池田町八幡2697の3

清水義一 氏(66才)  
池田町池野460の2の2

高橋 亨 氏(70才)  
池田町粕ヶ原129

草野勝海 氏(61才)  
池田町宮地874

- (一) 道路特定財源制度の堅持に  
関する意見書
- (二) 米国産牛肉の拙速な輸入再  
開に反対し、万全なBSE  
対策を求める意見書

### 政府へ意見書の提出

人権擁護委員候補者の  
推薦については不同意



森 廣幸 氏(55才)  
池田町六之井1420の1

池田町固定資産  
評価審査委員の  
選任に同意

# 一般質問

## ◆提案書の「民意」にどう答えるのか ◆近鉄存続への対応を聞く



窪田弘子議員

### 住民の提案はどうなった

**Q**

合併の破綻前、町長は「町単独で行く場合、今までのやり方では何年も持たない。」と説明され町民も理解している。今や改革案づくりを進める一方、実行できる事は一刻も早く着手していかねばならない。5月から集められた町民・職員の提案はどう生かされるのか問われている。

**A**

9月8日迄に町民から400件、職員から240件、意見・提案をいただいた。論点整理をすると約100件。今後12月までかけて順次取り組んでいく。

すでに提案箱の常設、町長の地区座談会等、提案に基づいてやっている。職員の駐車場も8月から月千円取っている。

### 池田町の新聞報道は少ない

**Q**

他市町なみに新聞等で情報を出し、改革を目に見えるようにされた

**A**

もっとうまくマスコミを利用していきます。

### 重ねて近鉄への対応を問う

**Q**

近鉄が養老線について方針を出す迄、2年半半しかないというのに、のんびりし過ぎだ。町長は3月、町内3駅に駐車場を提供すると言われて、はや半年、北池野駅は対応された。

**A**

大切さは重々わかっている。

ただそれだけ。町内3駅で1日の乗降客2千人、5駅も町民は利用できる。そんな幸せを「失ってから知る」事のないように。近鉄が血の滲む経営努力の末の赤字14億、沿線7市町だから当町も約2億円もらっている事になる。乗客を少しでも増やすよう知恵を絞るべき。

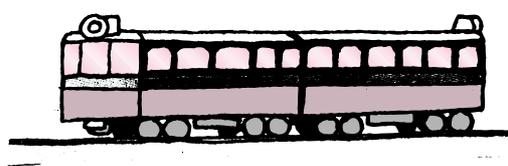
### 意見・提案(職員)

- 不必要な会議や資料の作成を撤廃し、斬新な政策を競う。
- 職員も住民ニーズ把握のため、地域ボランティア・生涯学習に参加を。
- 環境部門に人員を回してもらえば住民サービスがもっとできる。
- 職員配置を適正に。
- 職員同士で行政サービス向上のためプロジェクトチームを作る事を、奨励されたい。
- 下水道フェアを開催する。

### 提案箱(町民)

- 歳出を徹底して見直し、英断を持って実現すべき。
- 行政コスト節減委員会を作る。
- 任意団体への補助金は、しっかり審査してから。
- 議員定数・報酬をカットする。
- 簡単な公共工事は工具を貸し出し、ボランティアで。
- 職員の採用は、民間の人事担当に委託。
- 病児保育に取り組んで。
- 池田温泉運営にモニター制度をつくり利用者の声を聞く。

たくさんの貴重なご意見・ご提案の、ほんの一部です。



# 一般質問

## ◆住民サービスの向上 ◆職員もボランティア活動を



近岡 斌 議員

### 町職員の資質向上について

**Q** 現在の社会情勢をみますと企業ごとに年功序列制度主義から能力主義に変わりつつある。

一方、町職員は、昔ながらの年功序列制度的な部分が多くみられ、各課の上司の判断によって、内容に大きな格差が出来ている。このような状態については、町民の声である目安箱にもあがっている。

住民サービス向上を図るため、各職員に対して適正テストの導入、研修などによって、能力の向上、並びに均等化を図り、町職員のありべき姿を真剣に考えて行動すべきではないか。又、職務内容においても残業、休日出勤等最小限におさえ、人件費の節約を計られたい。

**A** 今後も年功序列はあり得ないと考えている。

大きなサービス機関とし

て住民の目線においた行政サービスを進める。

単独を決めた今、住民と一緒に行政を進め改めて意識改革をし総合的に見直しをする。

### 職員のボランティア意識の向上について

**Q** 職務時間外、夜間、日曜日、祭日等ボランティアによる会議、イベント、事業等への職員の参加は、原則としてボランティアとすべき。

**A** 全体をみながら配置を考えている部分もある。  
また、ボランティアとして  
いる部分もたくさんある。



職員参加のボランティア活動



倉地幸子 議員

# 一般質問

- ◆池田町の10年後の展望は？
- ◆介護保険制度改革、負担増の説明を！
- ◆町民との協働のまちづくりをどうする？

## 10年後の池田町の展望は

**Q** 単独となってもまちづくりの前にビジョン(理念)がなければ前には進めない。10年先の池田町をどういう町にしたいのか。

**A** 「安心して活力ある健康文化都市」を目指す。将来人口は4次総合計画と県の推計値、2万5千人前後(平成37年)を想定している。

**Q** 少子高齢化が進む。積極的な歳入増加につながる構想はないのか？

**A** 人口2万5千人を維持するため住宅や企業誘致・雇用の場の確保を考えたい。

## 職員の勤務評定について

**Q** 職員の勤務評定は町長だけでなく同僚や部下からの多角的な評価も必要なのではないか。

**A** 毎年、各課長から町長に寄せられたもので判断している。下から上を評価、降格制度、能力主義も今後は取り入れたい。

**Q** 池田町の介護認定者の数と給付額は。この5年間で2倍近く増えている。

**A** 池田町の介護認定者の数と給付額は。

## 介護保険費用の実費負担は

**Q** 10月1日から改定された老人施設利用者の食費の負担増は。

**A** 平均、月約3万円の負担となる。平均的食費は1380円。3段階までは自己負担が少なく差額は介護保険から給付される。

## 施設利用者/ショートスティ/ディサービスの食費の負担

増加する介護保険の認定者とかかるお金の比較			
介護保険の認定者	平成12年度	平成16年度	比率
池田町	392人	580人	1.5倍
要支援・要介護度1	110人	190人	1.7倍
介護保険の給付額			
	平成12年度	平成16年度	比率
池田町	2億200万円	4億8,300万円	2.4倍
揖斐郡全体	7億6,900万円	15億7,600万円	2.0倍
老人保健施設サービス給付額			
	平成12年度	平成16年度	比率
池田町	3億7,600万円	4億9,200万円	1.3倍
揖斐郡全体	12億6,400万円	17億4,300万円	1.8倍
在宅 51%(平成17年9月現在)			

施設利用者/ショートスティ/ディサービスの食費の負担				
所得に応じた段階	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
年収入	年金/生保世帯	80万以下	266万未満	それ以上
負担限度額(1日分)	300円/日	390円/日	650円/日	1,380円/日
これまでの月額負担額	9,000円	15,000円	15,000円	26,000円
10/1以降の月額負担額	9,000円	11,700円	19,500円	42,000円
比較	負担変わらず	3,300円減	4,500円増	16,000円増

\*生保…生活保護世帯

## どうやって協働のまちづくり

**Q** 池田町が輝くか活力を失うか、今が分岐点。協働のまちづくりをどのようにして進めるのか。

**A** 提案箱のご意見と職員からの提案も含めて早急に行政と住民が一緒になって問題解決をしていきたい。

**Q** ワークショップに対する宣伝が行き届いていない。

**A** 真剣にまちづくりを進めるならば「まちづくり基本条例」の制定を考えているか。

**A** 条例の制定も今後は必要と思う。その前段階としてワークショップを考えている。



# 一般質問

## ◆電子（一般競争）入札 町民との協働体制を早く



野網義一 議員

### 指定管理者制度 導入は慎重に

**Q** 各施設の収支、サービスの現状をしっかりと把握し将来の見通しを明らかにせよ。安易に民間に委託すればサービスの低下が心配。儲けになるところだけ民間がやって残りは町ではいけない。

**A** 資料を提示したが更に研究して、二つの施設を検証しながら慎重に進めたい。

### 談合防止に 電子（一般競争）入札を

**Q** 池田町の入札では請負率80数%と表現されているが落札率に直すとほとんどが99%前後。予定価格も公表しないで電子入札制度を来年度から実施出来るのか。

**A** 指名委員会の中の審査委員会で検討して

いるが踏み切れないでいる。業者の組織改革も含め大きな課題。

### やる気の持てる行政運営を

**Q** 「財政難の時代、住民の皆さんと協働で」と口では言われるが実際には、足を引っ張ることが多い。住民有志による『池田温泉夏まつり』の取り組みの経過、町民や職員の皆さんの意見に対する対応の遅さにもそれが現れている。池田温泉の駐車場や進入路の改善も放置されたまま。



池田温泉駐車場の水たまり

### 盆踊り



### トーチ トワリング



### よさこい

### 池田温泉 夏まつり



(池田温泉宿泊客も参加)

**A** 町の備品の貸し出しも検討したい。県の事業が遅れるのであれば町として温泉周辺の環境整備を進めたい。

### 広報「いけだ」9月号 公職選挙法違反！

**Q** 広報「いけだ」9月号の環境問題の特集記事の中で小泉総理の写真や

名前が載っているのは選挙の公平を期した公職選挙法に違反する。どんなチェックをしているのか。

**A** 配慮が足らなかった、関係者に厳しく指導した。

# 指定管理者制度の導入 (公共施設の民間委託)

## 総務委員会

委員長／松岡正彦  
副委員長／北角正郎  
委員／小林春男  
高橋 守  
近岡 斌

9月20日開催

### 主な審査の内容

- Q** 池田町公の施設の指定管理者の指定手続きに関する条例制定とは。
- A** 今回地方自治法の一部改正に伴い民間事業者を含めた団体に公の施設の管理運営を行わせることができる指定

### 付託案件

- 平成16年度  
一般会計歳入歳出決算の認定
- 平成17年度  
一般会計補正予算
- 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例

管理者制度の運用が開始されるため、本町も民間事業者等の能力を活用し、効果的・効率的に住民サービスの向上を図る。これらにより経費の削減を検討するため。

**Q** 6月の定例会で行政財産の目的外使用条例のその後。

**A** 近鉄線利用者への北池野駐車場の目的外使用はあくまで有料、ただし当分の間は無料とする。

**Q** 今年度の税収見込みは。

**A** 23億から23億5千万円の見込みである。

**Q** 平成18年度からの宅地の路線価方式が採用されることがその進捗状況は。

**A** 既に連担地区は路線価方式を採用している。鑑定士が7月1日現在の評価を進めている。

**Q** 県の委譲事務交付金52万6千円の内容は。

**A** 屋外広告物の管理・浄化槽の設置届及び事務費など。



北池野駅利用者用の駐車場

# 各学校・公民館 アスベスト使用状況調査中

## 民生文教委員会

委員長／岩谷真海  
副委員長／松岡雅子  
委員／細野清身  
野網義一  
森嶋和明  
窪田弘子

9月14日開催

### 主な審査の内容

アスベストは大丈夫か？

**Q** 公共施設のアスベストの使用状況と対応について

**A** 小学校や中学校の天井や壁等にアスベスト類が使われ、

特に中学校の体育館は使用中

### 付託案件

平成16年度  
一般会計歳入歳出決算の認定  
国民健康保険特別会計  
老人保健特別会計  
平成17年度  
一般会計補正予算  
国民健康保険特別会計補正予算  
老人保健特別会計補正予算

### アスベストの使用状況と対応

施設名	建設年度	室名	使用箇所	使用材料	石綿(有無)	処理方法
池田中学校	昭和53年	普通教室・会議室等	天井	岩綿吸音板	有	解体時注意
		コントロール室	壁	アスベスト板		
		映写室				
		調整室	換気部分	石綿吹き付け		即撤去
		体育館	壁	岩綿吹き付け		即撤去or囲込
		給食センター機械室				
食堂機械室						



はがれた石綿(保健センター・機械室)

※町内23の公共施設で調査、中間報告(9/15)のうち池田中学校

止し早急に撤去するよう対応している。

中央公民館等の機械室や地下室の壁や天井にも使用されており対応を検討中。

各施設で詳細に調べている。

**Q** 斎苑を改修してお通夜や葬儀をやり易く出来ないか？

**A** 増設することは難しい。今のままで告別式等を行うのは構わない。

### 煙霧消毒機の改善を

**Q** 肩掛式の煙霧消毒機の調子が悪く大変困っている。手押し式を改善し、先に簡単に延長ホースを取り付けられるようにしてほしい。

**A** 研究してみます。

**Q** 2万5千円を上限とする電動式ごみ処理機への補助金を今後も続けるのか？

**A** 処理機があまり使われていない現状を考え、今後はボカシへの方向転換をしたい。

**Q** 中学生の海外派遣事業の成果があまり表に出てこない。事業の見直しを。

**A** 希望しても行けなかった子供達に配慮してあまり外へ出さなかったのが事実。負担割合は見直したい。

**Q** さくら会館を霞間ヶ溪の紅葉がきれいな時に閉鎖するのはおかしい。見直しを。

**A** 利用希望者が多い時は開館したい。指定管理者だけで

はなく公募をかけて夫婦で住み込んでいただくようなことも検討したい。

### 産業廃棄物対策

**Q** 舟子地区内の産業廃棄物の処理は進んでいるのか？

**A** 8月31日に改善命令の撤去期限が過ぎたのが約4分の3残っている。9月15日に関係者の会議が開かれる予定だ。

**Q** 片山地区内において御嵩町の産廃中間業者の事業計画があるのか？

**A** 6月3日に産業廃棄物の処理施設の設計計画の照会が揖斐事務所を通じてあった。設置届けの本申請がされると地元の同意が必要となる。地域の皆さんと一緒に反対したい。



なんとかならないのか、この産廃。(舟子)

# 池田山の治山治水 森林整備は大丈夫か

## 建設産業委員会

委員長／牧村 隆  
副委員長／五十川省五  
委員 坪井 澄夫  
安田 正治  
久保田重男  
倉地 幸子

9月15日開催

### 付託案件

- 平成16年度  
一般会計歳入歳出決算の  
認定
- 北部簡易水道事業特別会  
計
- 南部簡易水道事業特別会  
計
- 農業集落排水事業特別会  
計
- 公共下水道事業特別会計
- 温泉施設特別会計
- 水道事業会計
- 平成17年度  
一般会計補正予算
- 北部簡易水道
- 南部簡易水道
- 農業集落排水
- 公共下水道
- 温泉施設
- 町道の路線認定

### 主な審査の内容

**Q** 池野連担区緊急避難場  
所並びにいこいの場(原織  
機跡地)の土地購入はどの様に  
なったか。

**A** 12月に契約できる見込み。

**Q** 集落内の道路改良を促進  
せよ。

**A** 用地の確保協力は得られ  
るところから対処している。

**Q** 池田山の森林整備事業は  
どのようになっているか。

**A** 国・県等により整備が図  
られている。直接事業費は  
3100万円。今後とも積極  
的に要望努力する。

**Q** 杭瀬川の草刈りの範囲は。

**A** 小牛地内から市橋地区。

**Q** 池田山の広葉樹、ホウソウ、  
ドングリの大木が枯れてい  
くが、その原因対策は。

**A** ナラの木に「カシノナガキ  
クイムシ」という虫が入る  
ため、木に穴をあけ薰蒸薬を  
注入し殺虫、霞ヶ浜一帯16ヘクタ  
ール病虫害防除、今後とも防除  
に努力する。

**Q** 林道、明神線及び平成線  
の改良済みの箇所が亀裂  
があり、整備することで災害発  
生の誘発が起こりやすいが、ど  
う対応するのか。

**A** 県単事業でまだ数年かか  
る。道路管理等万全を図る。



病虫害防除(池田山)



整備された池田山平成林道

# 住民の提案、635件集る 住民参加のまちづくり、いよいよスタート

## 行財政改革特別委員会

委員長／松岡雅子  
副委員長／窪田弘子  
委員／野網義一  
小林春男  
高橋 守  
松岡正彦  
安田正治  
岩谷真海  
9月16日開催

### 主な審査の内容

まちづくり、行政改革に  
関する提案について

**Q** 現在までの皆様からのご意見ご提案の状況とその論点整理は。

**A** 意見、提案等は下記に表した。合計635件を年齢別、地域別、5つのキーワード別に区分。今後、政策課題について論点整理を行い、ワークショップでも意見を聞き町の施策に反映させていく。

**Q** ワークショップの募集方法、活動方法について。

**A** 公募で行い最低25名で5分野に分け、最初の会合は行政で行うが、あとは行政と距離を置きディスカッションを行っていただき、行政は後方支援とする。

議員の定数・報酬について

当委員会において議員定数の削減に全員賛成、遅くとも12月までに結論が出るよう早急に全員協議会を開催され、報酬等も含み審議される事を議長に要望し、議長もこれを了とした。

各種団体への  
補助金見直しについて

**Q** 団体への活動補助、運営補助金等を今年度すべて20%カットされたが、来年度はどのように見直すのか。

**A** 18年、19年に向け本来に必要なのか、ゼロになる団体、増える団体もある事を踏まえ、今後充分検討していく。

指定管理者制度について

**Q** この制度を適用し民間に移行した場合、サービスの低下、施設使用料等負担は変動しないか。

**A** 基本的に現在のサービス水準を死守する。あくまで経費の節減と公の施設設置目的、本来のものがどうか合わせて今後議論を進めていく。

### 町民の皆様からのご意見・ご提案の状況

- 町民の皆様等からのご意見・ご提案の総数……………635件
- 1.町民の皆様からのご意見・ご提案の件数……………210件
- 2.町民の皆様との座談会などからいただいたご意見・ご提案の件数…184件(9月8日現在)
- 3.職員からの意見・提案の件数……………241件

分野	安心				快適				活力				文化				連帯				計			
	町民	地区	職員	計	町民	地区	職員	計	町民	地区	職員	計	町民	地区	職員	計	町民	地区	職員	計	町民	地区	職員	計
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	4	0	0	4
20代	0	0	12	12	0	0	4	4	0	0	10	10	3	0	2	5	0	0	13	13	3	0	41	44
30代	7	0	14	21	0	0	5	5	0	0	12	12	2	0	5	7	5	0	23	28	14	0	59	73
40代	2	0	13	15	4	0	4	8	1	0	7	8	5	0	6	11	13	0	29	42	25	0	59	84
50代	2	0	12	14	0	0	3	3	1	0	10	11	1	0	11	12	0	0	21	21	4	0	57	61
60代	2	0	2	4	2	0	1	3	9	0	3	12	7	0	0	7	29	0	1	30	49	0	7	56
70代以上	5	0	0	5	3	0	0	3	10	0	0	10	5	0	0	5	32	0	0	32	55	0	0	55
不明	10	23	8	41	5	40	3	48	3	64	1	68	4	16	3	23	34	41	3	78	56	184	18	258
合計	28	23	61	112	14	40	20	74	26	64	43	133	28	16	27	71	114	41	90	245	210	184	241	635

# まちの声

# 稲刈り体験

八幡小5年

## 子供の声



● 稲刈りをしているときカマがなかなか動かず、手に刈ることができませんでした。(倫明)

● 私は、稲刈をしました。あまりやるきかきがないのでよい思い出になりました。(祥子)



● 私は、初めて稲かりをしました。カマで、一かぶずつかりました。また稲かりしたいです。(真理)

● 昔の人がカマで稲刈りをしていたときの気持ちを体験できたのでよかったです。(健人)

● ぼくは初めて稲刈りの体験をしました。脱穀も教えてもらってやれたのでよかったです。(茂伸)

● 昔はコンバインではなく、カマで刈っていたのです。こいと思えました。とても大変でした。(義将)



● わたしは、初めて稲かりをしました。稲かりの体験ができて、いろいろなことが学べました。(美里)

● 昔の人はカマでこんな苦労を毎年していたということが分かってよかったです。(誉将)

● 稲刈りは、手に穂があたっていたけど、みんなと楽しく稲刈りができてよかったです。(珠里亜)

● 稲刈りをして、刈るのが大変だったけど、昔の道具を使って昔の大変さがわかりました。(実央奈)

## こんなことご存じですか？

—公共施設編—

宿泊や会議に利用できる **霞間ヶ溪さくら会館**

利用料	宿泊1人1泊 (寝具料は別)	宿泊を伴わない (1人4時間まで)
	1,200円~3,500円	200円

※中学生以下は半額、町外者は2倍。

詳しくは、中央公民館・社会教育課へお問い合わせください。  
45-7110・有線4461



## 編集後記

どこまでが夏で、どこから秋なの？はつきりした区別はないけれど、吹く風にちよびり冷たさを感じたり、虫の音色に耳を傾けたり。そんな時、ああ、秋になったんだなと感じますが人それぞれの境遇によってまた変わった秋を感じられていることでしょう。

ところで秋の歌といえば、誰でも知っている「夕焼け小焼け」や「赤とんぼ」などありますが、この歌も寂しさを感ずるのは、その歌に悲しい物語があり「夕焼け小焼け」は関東大震災で燃え盛る火を夕焼けに例えて「赤とんぼ」は母親のいない坊やを慰めるため姐やが負かしてあやしている様子を描いていることを知り私達の心に昔ながらの風景に故郷を偲ばせませう。

毎日何か追われるような喧騒の中で生きながら、それでいて充実感を感じない毎日、四月から始めた「議会たより」も三回発行、毎回これでよいのであろうかと反省しながら自己満足、大との散歩に付き合いなごんとなく「夕焼け小焼け」を口ずさんでいるこの頃であります。(安田正治)



ご意見は下記までお知らせ下さい。